

平成19・20年度 土木学会複合構造委員会 第1回幹事会議事録

1. 日 時：平成19年6月14日（木）14:00～17:30
2. 場 所：土木学会 B 会議室
3. 出席者：中島委員長，横田副委員長，渡辺幹事長，大垣幹事，大山幹事，~~葛西幹事~~，島幹事，~~杉浦幹事~~，~~武知幹事~~，田中幹事，西崎幹事，古市幹事，~~本間幹事~~，溝江幹事，山口幹事，池田，川島事務局
(敬称略，計14名 取消線は欠席者)

4. 配布資料

- 資料 幹1-1 第14回複合構造委員会幹事会議事録（案）
 - 資料 幹1-2-1 平成19，20年度委員会名簿
 - 資料 幹1-2-2 平成19，20年度幹事会名簿
 - 資料 幹1-2-3 複合構造委員会組織図
 - 資料 幹1-3 幹事会業務分担（案）
 - 資料 幹1-4-1 平成19年度複合構造委員会予算（案）
 - 資料 幹1-4-2 委員会活動度評価の活用方法および行事還元方法の変更（通知）について
 - 資料 幹1-5-1 シンポジウム小委員会・国際連携小委員会 合同会議 議事録（案）
 - 資料 幹1-5-2 複合構造シンポジウム（スケジュール，役割分担，予算案等関連資料）
 - 資料 幹1-5-3 第7回複合構造の活用に関するシンポジウム プログラム案
 - 資料 幹1-5-4 第7回複合構造の活用に関するシンポジウムのパネル展示募集（会告案）
 - 資料 幹1-5-5 「新東名高速道路橋梁建設現場見学会」開催のお知らせ（会告案）
 - 資料 幹1-6-1 土木学会全国大会研究討論会のCD-ROM概要集等について
 - 資料 幹1-6-2 土木学会全国大会研究討論会一覧
 - 資料 幹1-7-1 目標／計画（アクションプラン）と実施状況・今後の課題
 - 資料 幹1-7-2 平成18年度重点研究課題 調査研究報告書（概要版）
 - 資料 幹1-8 出版関係
 - 資料 幹1-9-0 小委員会審議・報告内容について
 - 資料 幹1-9-2 複合構造の現状調査小委員会
 - 資料 幹1-9-3 維持管理小委員会
 - 資料 幹1-9-4 新材料による複合技術小委員会
 - 資料 幹1-9-5 FRP複合橋梁小委員会
 - 資料 幹1-9-6 FRPによる鋼および複合構造の補修・補強小委員会
 - 資料 幹1-9-7 国際連携小委員会
 - 資料 幹1-10 複合構造委員会内規細則の第2次改正（案）について
日韓台JointSeminarパンフレット
- ※資料 幹1-9-1は欠番

5. 議事次第

(1) 委員長挨拶

開催にあたり中島委員長より挨拶があった。

(2) 幹事等自己紹介

委員長，副委員長，幹事長および各幹事より自己紹介があった。

(3) 第 14 回幹事会議事録（案）の確認（資料 幹 1-1）

武知幹事より前年度第 14 回幹事会議事録が確認され、(3)①と(6)③の 2 箇所の“こととが”の“と”を削除することで了承された。

(4) 平成 19,20 年度複合構造委員会・幹事会体制（資料 幹 1-2-1,1-2-2,1-2-3）

中島委員長より、平成 19,20 年度の複合構造委員会・幹事会の新体制について説明があった。

また、渡辺幹事長より複合構造委員会の組織図について説明があった。

今年度から、幹事は、全員、委員兼幹事となることが確認された。

(5) 幹事会作業分担（資料 幹 1-3）

渡辺幹事長より業務分担について説明があった。

- ・土木学会論文賞選考委員会委員の依頼があった場合、杉浦幹事が担当する。
- ・本間幹事の勤務先を、中日本高速道路（株）→（株）高速道路総合技術研究所 に修正する。

(6)平成 19 年度委員会予算(案)（資料 幹 1-4-1）

渡辺幹事長より平成 19 年度の予算案について説明があった。

- ・小委員会間で予算に差を付ける理由について質問があった。昨年度までは途中設立の小委員会は半額とし、あとは同額としていた。
- ・今年度は、指針小委員会は他小委員会より作業量が多くなることが見込まれるため 14 万、それ以外の研究調査小委員会は一律 7 万円、予備費 3.5 万円に変更する。
- ・複合構造シンポジウム開催の補助費が必要になった場合には、複合構造シンポジウム小委員会および国際連携小委員会の予算額、それでも不足の場合は幹事会の予算額から充当する。

(7)委員会活動度評価方法と行事還元方法の変更（資料 幹 1-4-2）

川島事務局より、委員会の活動度の評価方法と行事の還元方法の変更点について説明があった。

- ・今年度から、行事の収支の結果が次年度の予算に反映されるようになった。収益がある場合には上乗せ（還元率は現在約 60%）、赤字の場合には減額（負担率は現在約 60%）される。
- ・評価ランクについては現状維持（A ランク）を目指す。評価項目Ⅰ（委員会活動への参加者数）および評価項目Ⅱ（年間粗収益額）は B なので、評価項目Ⅲ（活動度）で A ランクを目指す。
- ・小委員会等の活動を学会以外の場所で開催した場合には必ず川島事務局に連絡する。

(8)複合構造シンポジウムについて（資料 幹 1-5-1,1-5-2,1-5-3）

中島委員長よりシンポジウムに関する説明があった。

○全体プログラム

- ・現時点の投稿数は 61 編（土木 38 編、建築 23 編）である。本間幹事に NEXCO 関係の投稿を依頼している。
- ・全体のプログラムについて、現状案では、開会挨拶時の参加者が少なくなりそう。また、2 日目の終了時刻が 18 時過ぎでは遅い。再度見直しが必要である。
- ・国際ジョイントセミナーは AB 会議室とし、講堂で並行して一般発表を行う。
- ・国際ジョイントセミナーのテーマが FRP のため、初日午後に FRP 関連のセッションを入れる。また、英語発表セッションを設けるのであれば、初日午後に入れる。
- ・セッションの組み替えの他にも、開始時間を若干早める、昼食時間を若干短縮するなど考えて、2 日目の終了時間を 17 時頃までにする。
- ・国際ミーティングは応接室で行う方法もある。
- ・6 月末までに投稿者に採択の可否を連絡する予定で、その際に講演番号（原稿のページ数に入れる）も連絡するため、できればそれまでにプログラムを確定したい。間に合わなければ、講演番号は後日連絡するようにする。
- ・11/8 に出版委員会のヒアリング用に会議室を使いたいとの申し入れがあった。控え室や空いている会議室を使って頂くことを了解する旨回答する。

○ 複合橋梁建設現場見学会

- ・ 会告は 8 月号に掲載予定していたが、9 月号にシンポジウムと合わせて掲載する。これは、当初は早めに見学会参加者数を把握するために 8 月号掲載を予定していたが、見学会参加者はシンポジウム参加者である必要があるのでシンポジウムの会告とずれがあると混乱する恐れがあるためである。
 - ・ 参加申し込みの締め切りは 10 月 22 日(月)とする。先着順 30 名までとし、バス 1 台限定(max44 名)とする。
 - ・ 集合場所は東京駅近く(鍛冶橋駐車場)とする。新宿駅でも移動時間は変わらないが、東京駅の方が集合場所がわかりやすいため。
 - ・ 参加費は正会員、学生会員、非会員問わず 6000 円。幹事も参加する場合には参加費を払う。
- パネル展示
- ・ パネル展示の会告は 8 月号に掲載する。
 - ・ 各幹事から周知を積極的に行う。建築学会へも呼びかける。
- シンポジウム
- ・ 参加者を多く集めるように積極的に呼びかけを行う。建築学会にも参加者の呼びかけをお願いする。
 - ・ 司会への謝金は無し。建築学会の司会も同様に無しとする。
 - ・ 国際ジョイントセミナーの発表者には記念品として盾を渡す。国内の発表者にも記念品を渡す。盾は 1 個 8000 円で、デザイン料として総額 10000 円が必要である。
 - ・ 7 日の懇親会はアルカディア市ヶ谷で行う。幹事は基本的に全員参加する。また、前年度幹事にも参加を依頼する。
- 国際ジョイントセミナー
- 横田副委員長より、国際ジョイントセミナーに関する説明があった。
- ・ **First Announcement** は学会国際委員会から正式に両国に送ってもらった。今後、具体的に調整していく。
 - ・ 韓国、台湾からは各 2 名程度の参加がある見込みである。
 - ・ 国内の発表者は FRP 小委員会に対応して頂く。海外からの FRP の発表内容を確認してから、国内の発表内容を決める。
 - ・ 国内ミーティングは今のところ内容が未定であり、今後両国と調整していく。
- (7)平成 19 年度年次学術講演会について(資料 幹 1-6-1,1-6-2)
- 西崎幹事より年次学術講演会の研究討論会について、大垣幹事より共通セッションについて説明があった。
- 研究討論会
- ・ 話題提供者として中日本高速道路榑池田(博)氏に依頼中。6 月末までに確定する予定。
 - ・ CD の原稿締め切りは 7/20。
 - ・ 西崎幹事より各パネラーの役割を整理して連絡する。
 - ・ 研究討論会は 9/12(水) 13 時~14 時半に開催。幹事は全員出席する。参加者を多く集めるため積極的に呼びかけを行う。
- 共通セッション
- ・ プログラムは大垣幹事と武知幹事で作成済み。複合構造関係は計 56 編で 7 セッション。
 - ・ 座長は奥井先生、松井先生、日野先生、武知氏、中島先生、岡田氏、西崎氏にお願いしている。
- (9)委員会連絡事項(資料幹 1-7-1, 1-7-2)
- ・ 目標/計画(アクションプラン)と実施状況・今後の課題について、渡辺幹事長より説明があり、すべて A 評価で提出したことが報告された。
 - ・ 平成 18 年度重点研究課題の調査研究報告書について中島委員長より概要が紹介された。詳細版は学会 HP に掲載されている。

(10)出版関係（資料幹 1-8）

武知幹事より、出版物の区分や出版までの手順などについての説明があった。

- ・「複合構造技術の最先端」については複合構造シリーズ 03 として発刊準備を進めている（山口幹事）。
- ・出版物は、完全版下原稿と Word 等のデータファイルの両方が必ず必要である。
- ・今年度は 9A, 9B の出版を申請している。
- ・年度内に出版が間に合わない場合には、理由書を提出する必要がある。

(11)各小委員会からの報告

○各小委員会報告内容（資料幹 1-9-0）

渡辺幹事長より、今後の小委員会の活動報告の方法について説明があった。

- ・委員会には全ての小委員会の活動状況を議題とする。
- ・幹事会は、小委員会を設立する場合、設立時から変更が生じた場合、および委員会直前の場合のみ議題とする。それ以外は特に報告は不要とする。

○性能照査指針小委員会

渡辺幹事長より口頭で活動状況について説明があった。

- ・来年 1 月の委員会には原案を提出する予定で作業を進めている。
- ・示方書の審議期間は、親委員会に最低 2 回の審議を想定しているため半年程度を設ける。他委員会への意見照会はしない。
- ・幹事会にできるだけ早い段階で提出し審議をお願いする。
- ・委員等の任期を 2 年としたため委嘱任期切れとなる。そのため、活動期間(3 年)終了予定の平成 19 年度末（平成 20 年 3 月 31 日）まで、再委嘱する。

○複合構造物の現状調査小委員会（資料幹 1-9-2）

葛西連絡幹事の代理として渡辺幹事長から活動状況の説明があった。

1 年間の活動期間延長の依頼があった。

- ・活動延長の期間については、講習会等もあるので、渡辺幹事長より伊藤小委員長に再確認する。
- ・次回の幹事会で、伊藤小委員長に出席を求め、延長期間も含めて今後の詳細なスケジュールについて説明して頂く。次回の親委員会では延長の具体的な話はしない。
- ・委員等の任期を 2 年としたため委嘱任期切れとなるが、活動延長の期間が決定後、それに合わせて再委嘱する。

○維持管理小委員会（資料 幹 1-9-3）

溝江幹事より活動状況について説明があった。

- ・WG に分かれて活動中であることが報告された。
- ・3 名の委員の追加について報告があった。
- ・委員等の任期を 2 年としたため委嘱任期切れとなる。そのため、活動期間(3 年)終了予定の平成 19 年度末（平成 20 年 3 月 31 日）まで、再委嘱する。

○新材料による複合技術小委員会（資料 幹 1-9-4）

古市幹事、山口幹事、大垣幹事から活動状況として、特に講習会や報告書の出版に関する説明があった。

- ・講習会の参加申し込みは現在 15 名。100 名の参加者を目標に積極的に呼びかけを行う。講習会のみでの収支差 0 を目指している。
- ・報告書は複合構造シリーズ 03 として出版準備中であり、表紙を小委員会の中で決める。意見照会したところ修正意見 1 件のみですでに修正済みである。
- ・講習会は途中段階の報告であり、小委員会としては引き続き活動を行う。
- ・委員等の委嘱任期切れにより、活動期間(3 年)終了予定の、平成 19 年度末（平成 20 年 3 月 31

日)まで、再委嘱する。

○ FRP 複合橋梁小委員会 (資料 幹 1-9-5)

西崎幹事から、活動状況について説明があった。

- ・ 4名の委員の追加について報告があった。
- ・ 小委員会の目的が、調査研究のみではなく、指針の作成となっている。指針の作成は、本小委員会のような公募による小委員会では好ましくない。
- ・ 小委員会の成果としてマニュアルの原案を作成して、それをもとに別途小委員会や受託の委員会を設立するなどして、厳選された委員で慎重に議論して指針を作成するのがよい。
- ・ FRPの指針を作成するにあたり、まずは橋梁の材料として適用できるFRPを整理するのがよいのではとの意見があった。

○ FRP による鋼および複合構造の補修・補強小委員会 (資料 幹 1-9-6)

山口幹事より、活動状況に関する報告があった。

- ・ 山田(平設計)小委員会幹事長とTELにて話をしたところ、小委員会の成果は、指針ではなく、複合構造レポートとしてまとめることを考えているとのことである。

○ 国際連携小委員会 (資料 幹 1-9-7)

横田副委員長より、委員1名の追加が報告された。

(12) 複合構造委員会内規細則改訂について (資料 幹 1-10)

川島事務局より、複合構造委員会内規細則の第2次改正案について説明があった。今後は企画WG(田中幹事)が川島事務局と共同で内規細則の作成を行う。

(13) その他

- ・ 今年度第1回複合構造委員会(7/2)には本幹事会資料の抜粋版を提出する。
今回は特別講演はなし。今後は、特別講演は毎回でなく必要に応じて行う。
- ・ 今後の幹事会日程
第2回 2007/8/31(金) 14時～ (高知工科大学(予定))
第3回 2007/10/25(木) 14時～ (場所未定)
第4回 2007/12/14(金) 14時～ (場所未定)
第5回 2008/2/29(金) 14時～ (場所未定)

以上(記録・文責 池田 学)